

# 阿部 総 いち あべこう一 県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 山積課題へ対応見誤るな!

### 阿部 県議 厳しい質問で執行部ただす

昨年4月の県議選で、再び市民の負託を受けて県議会活動に専念している千葉市稲毛区選出の阿部総一(あべ・こういち)県議は、議長としての要職を終えたことから、12月県議会で1年半ぶりに一般質問に登壇しました。

昨今、執行部と議会との緊張関係が薄れてきているとの批判もある中、阿部県議は初心を忘れず、議会に緊迫感を取り戻すため、今回も県民の代弁者として厳しい姿勢で質問に臨みました。民主主義の基本である二元代表制の一翼を担う議会としての使命しっかりと果たし、議会の持つ本来の機能を高めたいとの熱い思いからです。12月定例会での阿部県議の主な質疑を特集しました。



手ぶりを交え議場で熱く語る阿部県議

### 東京オリンピック・パラリンピック 財政面で支障出ないか

阿部議員 まず、知事の政治姿勢について伺います。世界のスポーツの祭典といわれる東京オリンピック・パラリンピックは歓迎します。ただ、心配なのはそこに目が奪われ、山積している課題への対応を見誤ることがあってはならないことです。

知事並びに執行部の皆さんには、常に冷静沈着に、これからの5年間の県の政策と県民の政策ニーズにミスマッチが生じることのないよう、努めてもらいたいと思います。それはまた、財政にも言えることで、財政面でのしわ寄せが他の重点施策に影響を及ぼしてはならないのであります。

そこで知事にお尋ねします。東京オリンピック・パラリンピックをどう県民のために生かしていくのか。また、県民にとつての重要な政策課題の執行に財政面も含めて支障を生じさせることはないのか。

森田知事 両大会の本県開催は、国内外からの新しい人の流れを創出する千載一

### 12月県議会一般質問に登壇

### 東日本大震災 復旧・復興計画通りか

阿部議員 2011年3月11日に東日本大震災が発生し、年数が経つとともにその恐ろしが風化しつつあるのではないのでしょうか。これからも、いつ何時、あのような

皆さま、明けましておめでとございます。

昨年4月の統一地方選挙(県議選)で、皆さまのご支援をいただき、再び議席をお預かりすることとなりました。これひとえに、皆さまのお力添えのためにも、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の12月定例会議において、一般質問の機会をいただきました。昨今は、議会と執行部との緊張関係が薄らぎ、二元代表制の二翼を担う議会の機能が低下しているのではないかと

かで暮らしやすい「くらし満足度日本二」の千葉の実現を目指してまいります。

なお、競技開催に伴う費用については、負担の在り方について関係機関と十分に協議し、福祉など県政の課題への取り組みに影響が出ないよう、本県の負担の軽減に努めてまいります。

お尋ねします。東日本大震災からの復旧・復興は計画通り進められているのか。

森田知事 復旧事業は、今年度当初までに99事業のうち、96事業が完了し、被災者の生活支援に関する3事業が継続実施中です。また、復興事業についても、防災基本条例の制定や橋梁の耐震化など防災体制の充実や災害に強いまちづくり等を着実に推進しているところでありますが、海岸河川の津波対策など、完了までにあと数年を要するものもあります。

なお、旭市などの災害公営住宅では、すでに避難された方々が入居を終え、通常の生活に戻りつつあります。今後も、東日本大震災から得られた教訓を決して忘れることなく、県の重点施策である復旧・復興に全身全霊を傾け、取り組んでまいります。

### 「あいさつ」

この声も聞かれ、私も少なからずそのように思います。

これは、我々議会にも責任があり、県議会議員としての姿勢に初心を忘れて、甘い体質がいつの間にかしみついてしまったからとも言えます。ここでそれを表現させていく、これが議員に与えられた責務だと思えます。

結びに、この1年が皆さまにとりまして、素晴らしい年でありますよう祈念申し上げます、私の年頭のごあいさついたします。

千葉県議会議員 阿部 総一

# 子ども・子育て支援 県民の声しっかり県政に反映

## 「認定こども園」課題を提起



メモを手に激しい口調で再質問する阿部県議

設あり、辞退の理由としては、減収への不安や設置者である社会福祉人と学校法人の一本化の困難さなどとなっております。

### 推進に向け支援策

阿部議員 県では、私立幼稚園の認定こども園への移行を促進するため、どのような支援を行っているのか。

中島総務部長 県では、私立幼稚園が認定こども園への移行に向けた施設の改善を行う場合や、認定こども園が遊具等の整備を行う場合に、幼稚園に対するよりも手厚い助成制

### 認定辞退の理由

阿部議員 次に認定こども園について伺います。新制度では、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」が、保育の受け皿として期待されており、国も地方も、幼稚園や保育所から認定こども園への移行を推進しています。

しかし、新制度で新たに設けられた、私立の施設に対する運営費補助である施設型給付では、園児数が多いほど1人当たりの補助額が減る傾向にあることから、事業者は減収を懸念し、大規模園を中心に認定の辞退があったと聞いています。新制度開始に当たり、私

立幼稚園から認定こども園に移行した施設数とその割合はどうか。また、認定を辞退し、私立幼稚園と民間保育所に戻った認定こども園の数はいくつあり、辞退の理由は何か。

中岡健康福祉部長 県内の私立幼稚園427施設のうち、本年4月に認定こども園に移行したのは3施設であり、新制度開始前に認定を受けた9施設と合わせると、合計12施設、2.8%が私立幼稚園から認定こども園となっています。

また、認定を辞退し、私立幼稚園と民間保育所に戻った認定こども園は5施設あり、辞退の理由としては、減収への不安や設置者である社会福祉人と学校法人の一本化の困難さなどとなっております。

### 保育所の待機児童

阿部議員 県は4月から始まった子ども・子育て支援新制度の開始に合わせて、「千葉子ども・子育て支援事業計画」を策定し、平成29年度末には県内全市町村で「待機児童ゼロ」を目指すとしています。

と、昨年よりも395名増えていきます。

保育所待機児童の解消に向け、県はどのように取り組んでいるのか。

中岡健康福祉部長 県では、待機児童の解消に向け、国の交付金により造成した「安心こども基金」などを活用し、民間保育所の施設整備に対する助成を行うとともに、定員増を行う施設整備に対し、県独自の上乗せ補助を行っています。

しかし、深刻な社会問題である保育所の待機児童は、そう簡単に解消されそうもありません。県内の保育所待機児童数は、今年4月1日時点で1646名

これらの民間保育所整備のため、平成27年度は約79億円の補助による108施設整備と、約4800人の定員増を見込んでいます。

阿部議員 平成29年度末に県内市町村で待機児童ゼロを目指すとの目標を達成できるのか。また、今年度予定通りの施設整備が行われるのか、現時点での見込みを伺いたい。

中岡健康福祉部長 今年度の施設整備補助については、今年度末に目標達成に努めます。

### 看護師確保へ貸付制度

阿部議員 看護師確保対策をしっかりと進めていくためには、千葉県保健師等修学資金の貸付枠を増やすこと、もう一つは月額1万8千円という全国最下位の貸付額を全国平均並みの3万7千円程度まで引き上げられないかです。現在の貸付枠の状況はどうか。

古元保健医療担当部長 同制度は、県内外の看護学校等に在学し、卒業後県内で業務に従事しようとする者に対し、修学資金を貸し付けることにより、県内における看護職員の確保を図るものです。

本県が昨年4月に公表した千葉県医師・看護職員長期需要調査では、平成37年に看護職員は最大で約1万5千人不足するとの結果が出ており、こうした状況を踏まえて、平成27年度は、

では、今年度中に整備が完了した見込みの施設は、定員へ1人で民間保育所が86%、小規模保育事業では今年度から制度がスタートしたこともあって、65%となっております。

平成29年度末を目指す目標の待機児童ゼロは、新制度の実施主体である市町村が取り組む施設整備を支援するとともに、必要な保育人材の確保に努めるなど、引き続き市町村と連携を図りながら目標達成に努めます。

新規貸付枠を平成26年度の380名から500名に拡大し、継続分と合わせた貸付人数は1109名となる見込みです。

阿部議員 同修学資金の貸付額を全国平均程度まで引き上げる考えはないのか。

古元保健医療担当部長 本県の新規貸付人数枠は、全国でもトップクラスであり、看護職員が不足している本県では、まずは貸付人数枠を拡大し、本県の看護職員の就業者数を確保することを優先したいと考えています。



県職員と政策協議する阿部県議(右)

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

あべこういち 県議事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595  
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX 043-285-2192

阿部 検索 ホームページ http://abe-koichi.com/